

「ぬくもりを届けたい、手から心へ」.....

たまちゃん通信

令和5年8月発行 No. 368

発行：日本のお手玉の会事務局 〒792-0023 愛媛県新居浜市繫本町8番565号

新居浜市市民文化センター別館1階

Mail: honbu@otedama.jp Tel: 0897-47-6148 FAX: 0897-47-6149

シンポジウム「未来のお手玉」余話 最終回

日本が誇る伝承遊び「お手玉」を継承し未来へつなでいく

日本のお手玉の会30周年記念全国お手玉遊び大会で、記念シンポジウム「未来のお手玉」が行われました。その中で語り尽くせなかったことを、宮中雲子、山本清洋、尾崎杏子の3氏に「シンポジウム未来のお手玉『余話』」として、9回にわたって追加、ご提言をいただきました。いろいろ貴重なお話いただきましたが、今回を持ちまして『余話』を終了させていただきます。今回は、そのまとめです。

1. 蛍光色のお手玉で幽玄の世界を演出

尾崎様は、蛍の光を放つお手玉づくりに挑戦しました。しかし、その企画は成功しませんでした。しかし、もういちど光るお手玉づくりに挑戦をして、たくさんの人によるお手玉演舞で、「ホー、ホー、ホタルコイ…」と歌いながら、幽玄の世界を幽玄の世界を表現することを目指したい、とっています。

2. 海外へお手玉を広め世界お手玉大会

宮中様は、日本が誇る伝承遊びお手玉を、海外へも広げたい。これまでの海外遠征で、文化や歴史、言葉が違っても、お手玉遊びに興味を持たれることを体験しています。これからもその機会を増やし、日本で世界お手玉遊び大会をできることを望んでいます。

3. スポーツ大会の中でお手玉の競技も

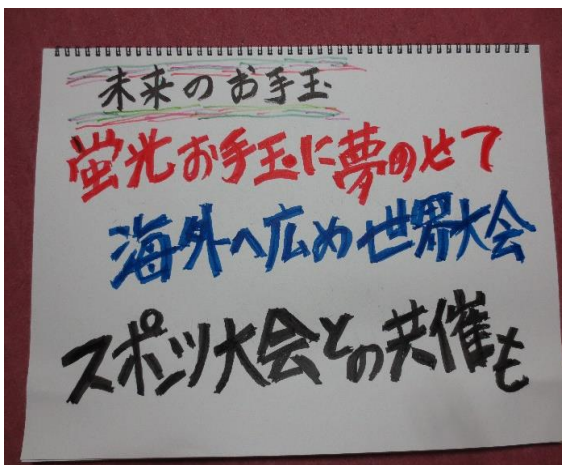
山本様は、半世紀余りお手玉とは無縁の生活が、第11回全国お手玉遊び熊本大会で一変。大会の規模、雰囲気、選手の表情などすべてが、これまで携わ

ったスポーツ大会とは異次元の楽しいものだった。これからはだれもが参加して楽しみ、喜び合える素晴らしい雰囲気を、スポーツ関連大会でも生かしたい。

4. あなたにとって未来のお手玉は？

伝承遊びを守るとともに、一方で、時代に合わせて進化、発展させていくことも大切です。

あなたにとっての「未来のお手玉」はどんなものでしょうか。この機会にお考えになってみてください。



ご愛読ありがとうございました。今後ともお手玉遊びの発展へのご協力をお願いします。(終わり)